

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【公開番号】特開 2014-34953 (P2014-34953A)

【公開日】平成 26 年 2 月 24 日 (2014.2.24)

【年通号数】公開・登録公報 2014-010

【出願番号】特願 2012-177976 (P2012-177976)

【国際特許分類】

F 0 2 M 37/00 (2006.01)

【F I】

F 0 2 M 37/00 G

F 0 2 M 37/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 24 日 (2015.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

積層された複数の濾材が複数の溶着部により一体化されたフィルタ材を有しかつ中空部を形成するフィルタ部材を備え、

燃料タンク内に配置されかつ燃料を吸入する燃料吸入口が前記フィルタ部材の中空部に連通される燃料フィルタ装置であって、

前記燃料タンクと前記フィルタ材との間に配置される間隔形成部を有する外側の間隔形成部材を備え、

前記外側の間隔形成部材の間隔形成部は、複数の開口部を形成する棧部を有し、

前記溶着部の間に該外側の間隔形成部材の間隔形成部の棧部が配置されている

ことを特徴とする燃料フィルタ装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の燃料フィルタ装置であって、

前記フィルタ材の中空部に配置される間隔形成部を有する内側の間隔形成部材を備え、

前記内側の間隔形成部材の間隔形成部は、複数の開口部を形成する棧部を有し、

前記溶着部の間に該内側の間隔形成部材の間隔形成部の棧部が配置されている

ことを特徴とする燃料フィルタ装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の燃料フィルタ装置であって、

前記フィルタ材は、前記燃料吸入口が接続される前記フィルタ部材の接続部に対向する領域を有し、

前記接続部の軸線方向から見て、前記接続部に対向する前記フィルタ材の領域内に前記溶着部が配置されている

ことを特徴とする燃料フィルタ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 7 】

図 1 ~ 図 3 に示すように、前記ケース部材 1 8 は、扁平な四角形箱状に形成されている。ケース部材 1 8 は、上下に分割された蓋体 4 4 とケース本体 4 2 とから構成されている。ケース本体 4 2 は、上面を開口する浅い有底四角形箱状に形成されている。ケース本体 4 2 内には、前記フィルタ部材 1 6 が収容されている（図 3 参照）。すなわち、ケース本体 4 2 はフィルタ部材 1 6 の外側に配置されている。ケース本体 4 2 の底板部 4 3 は格子状に形成されている。すなわち、図 2 に示すように、底板部 4 3 は、四角形枠状の枠部 4 6 と、枠部 4 6 内を前後方向に斜めに横切るとともに相互に交差する棧部 4 7 とを有する。棧部 4 7 同士の交差部分及び枠部 4 6 と棧部 4 7 との交差部分を交差部 4 8 という。また、棧部 4 7 同士、及び、棧部 4 7 と枠部 4 6 とにより板厚方向（図 3 において上下方向）に開口する四角（菱形）形状又は三角形形状の開口部 4 9 が形成されている。底板部 4 3 は、フィルタ部材 1 6 の下側のフィルタ材 2 0 B（詳しくは外面（下面））に面しており、相互に面接触状に当接可能となっている。また、枠部 4 6 の四隅部の下面には、半球状の支持突起 5 0 が突出されている。各支持突起 5 0 が前記燃料タンク 1 2 の底壁部 1 3 上に当接することにより、ケース本体 4 2 の底板部 4 3 と燃料タンク 1 2 の底壁部 1 3 との間に燃料が流通する隙間 5 1 が形成されている（図 3 参照）。また、底板部 4 3 と支持突起 5 0 とにより、ケース本体 4 2 の底板部 4 3 と燃料タンク 1 2 の底壁部 1 3 との対向面間に所定の間隔を形成する間隔形成部 5 2 が構成されている。